



たまなスタッフ

よもやま

ばなし

Vol.20

この度の能登半島地震で被害を受けられた皆さま、また、被災地に所縁の深いご関係の皆さまに衷心よりお見舞い申し上げます。一日も早い復旧をたまな商店スタッフ一同、心よりお祈り申し上げます。

もちつかぬ里の伝説…

日本全国、地域によっては様々な風習がありますよね。ここの和歌山県は「餅まきの聖地」と呼ばれるほど、地域でお餅まき行事が頻繁に行われることで有名ですが、そのお餅にまつわる伝説があるのです…。たまな商店がある白浜町から車で約1時間ほどの集落・小川地域は、なんと600年もの間、餅を食べられなかった伝説が残っています。600年!!!!
かつて後醍醐天皇の御子、大塔宮が戦乱を逃れるため山伏に扮してこの村を訪れました。この地域では、戦に負けた者に施しを与えてはならないとの戒めがあったため、餅をおけて欲しいとの一行の申し出を、村人たちは断りました。のちにその一行が大塔宮であったことを知り、自らの非礼を悔やみ、それ以降、お正月すら餅をつかず先祖の言い伝えをかたくなに守ってきたそうです。すごいお話でビックリしましたが、私が最も驚いたのは、昔からお餅の代わりに食べられてきた「ぼうり」という食べ物!!インパクトがすごいのです…。里芋の親芋を使ったお料理ですが完成まで丸2日はかかるらしい…。今はどの家庭でもお餅を食べているそうですが、お正月にはこのぼうりを作る方も多いのだとか。地域の歴史を知ると興味深いことばかりです♪もちつかぬ里のご紹介でした(^.^)



待望の!レンジアップ玄米ごはんの登場です!那智のめぐみ



フィルムのデザインは変更になる場合がございます。

待ってました!!たまなスタッフが欲しかった商品、レンジアップ玄米ごはんの登場です!しかも、大人気のピロール農法米「那智のめぐみ」を使用♪疲れた日もこのパックごはんがあれば、帰宅後すぐに美味しい玄米が食べられます。湯煎でも温め可能なので備蓄にも最適です!まずは普段ごはんとしてぜひ取り入れてみてください(#^^#)